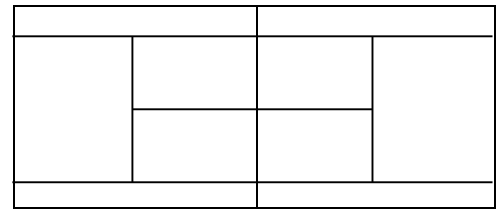


試合前の準備

1. ネットの高さやシングルススティックなど確認する。審判員全員、シングルス1が行われるコートの審判台下のネット際で選手を待つ。主審は100円コインを用意しておく。



○ ○ ○ ○ ○ ○
D2 審判 D1 審判 S1 審判 S2 審判 S3 審判

台

団体戦開始 (進行はシングルス1の主審)

2. 両校の監督・選手をサービスラインに整列させる。
「サービスラインに整列してください。」
3. 挨拶と選手紹介
「両校は前に進んでください。」
「ただ今より、○番 ○○高校 と ○番 ○○高校 の試合を始めます。両校、礼！」
「オーダー用紙の交換をお願いします。」
「(番号の小さい) ○番 ○○高校 の監督の先生より、メンバーの紹介をお願いします。」
4. 両校の選手紹介が終わったら
「□番コートにシングルス1、□番コートにダブルス1が入ってください。」
「空いたコートにシングルス2、ダブルス2、シングルス3の順に入ってください。」
<打ち切りの場合>
「ただし、勝敗が決まった場合は、ポイント打ち切りとなります。審判の指示に従ってください。」

トス・練習・試合開始

5. 両選手を呼んでトス (100円コイン使用) を行う。番号の小さい高校の選手に選択してもらう。
「トスを行います。フラワー (花) か、ナンバー (数字100) かを教えてください」
トスに勝った選手が「サーバーかレシーバー」を選択 ⇒ 負けた方は「エンド (コート)」を選択
「エンド (コート)」を選択 ⇒ 負けた方は「サーバーかレシーバー」を選択
6. サーバーの名前と高校名を確認し、審判用紙の「Server Side」に頭文字を記入する。
ダブルスの場合、レシーブサイドを確認し、「Doubles receivers」に4人の頭文字を記入しておく。
7. 選手にボールを渡し、練習後すぐに試合のできる服装で練習するように指示する。
「練習はサービス練習4本です。始めてください。」
審判用紙に必要事項を記入する。
8. サーブ練習後、20秒以内に試合を開始する。
「One set match, (高校名) to serve. Play!」 コールはとにかく大きな声で!
9. 試合中のコールやアナウンスは「審判の心得」を参照に。
名前は高校名をアナウンスする。「Game, (高校名). (高校名) leads 3 - 2 (three - two).」など。
スコアボードの数字変更は選手がエンドチェンジの際に行う。
ポイント間は20秒。エンドチェンジは90秒、60秒たったら「Time」とアナウンスする。
10. 試合が終了したら
「Game, set and match (高校名). Score is 6 - 4.」
勝者にサインをもらい、主審・副審は審判用紙を本部に届ける。次の試合の審判は直ちにコートに入る。

団体戦終了

11. 初戦は5試合全て行う。その他は勝敗が決定した時点でポイントの区切りで打ち切る。審判団全員で勝敗を確認する。最終試合の審判と副審は、両校をサービスラインに整列させる。
「両校は前に進んでください。」
「○○高校と○○高校の試合は、□対△で○○高校が勝ちました。両校、礼！」
12. セットボールを敗者校に渡し、審判用具は本部へ返す。

困ったときは、審判はその場を離れず、副審にコートレフェリーを呼んできてもらうこと